

小学校でプログラミング・英語教育の必修化 幼児教育をサポートする「ロボホン」を活用した知育教材アプリ 「ロボキッズパーク」を開発・提供開始

竹田印刷株式会社（本社：愛知県名古屋市 代表取締役社長：木全幸治）は、シャープ株式会社のコミュニケーションロボット「ロボホン」を活用し、幼児が遊びながら、ひらがな・数字・英語の練習や絵本、おりがみなどを学ぶことができる幼児向け知育教材アプリ「ロボキッズパーク」を開発し、提供を開始いたします。



左：ロボホン 右：ロボキッズパーク



幼稚園での絵本の読み聞かせ

2020年より小学校でプログラミング・英語教育の必修化。子育て世帯の約9割が「家庭でのプログラミング教育を実施しておらず、どのように学ばせたらいいか悩みを抱えている」

2020年から小学校でプログラミング教育が必修化され、中学校、高校でもICT化教育が拡充されています。日常の中にITが溶け込むこれからの時代、プログラミング的思考、論理的なものの考え方という基礎的な学力の習得が子どもたちにとって必須の力となります。そのため、低学年・低年齢からロボットやAIなどのデジタルツールに慣れておくことや、プログラミングを体験することが大切になってきます。

IT企業が実施したプログラミング教育に関するアンケート*によると、子育て世帯の家庭の9割が「家庭でのプログラミング教育は実施していない」「必要性を感じているが実施していない」と回答し、「どのように何を始めればよいか分からない」という現状があります。

そのような中、当社はプログラミング的思考の基礎となる力を、幼児期に遊びながら育ててほしいと考え、ロボホンを活用した知育教材アプリ「ロボキッズパーク」を開発しました。ロボホンの声や朗読に合わせて、園児が絵本やおりがみを楽しみながら作れます。園児とロボットが触れ合いながら学習と遊びを体験することで、健やかな育ちを支え園児教育の質の向上に寄与します。また、忙しい保育士の業務サポートにもつながります。

*株式会社ネクストビート「子育て世帯の家庭でのプログラミング教育に関するアンケート調査」[https://www.nextbeat.co.jp/news/7329\(2020.9.14\)](https://www.nextbeat.co.jp/news/7329(2020.9.14))

■サービス概要



- えほん、よみきかせ / 絵本をロボホンが読み上げて、読み聞かせを行います。
- あいうえお すうじ、えいご ABC / 知育玩具メーカーの教材を使い、ロボホンと一緒にひらがな、数字、アルファベットや動物、乗り物などの名前を覚えることができます。
- かるた / 日常生活のルールやマナー、習慣を「かるた」で遊びながら覚えることができます。
- おりがみ / ロボホンの声とタブレット上の折図で、おりがみを楽しめます。

名称：ロボキッズパーク 想定年齢：3~5才 URL：https://www.takeda-prn.co.jp/robo/app_02.html



●本件に関するお問い合わせ

竹田印刷株式会社 担当：藤谷 由美（ふじたにゆみ）

TEL：052-871-6414 E-mail：ssdesign1@takeda-prn.co.jp FAX：052-872-1968

●竹田印刷株式会社について

愛知県に本社がある竹田印刷株式会社は、印刷からWEB・システム開発、イベントまで幅広く販促支援を行っています。企画、制作から納品、物流まで社内一貫生産のワンストップソリューションサービスでお客様の課題を解決します。 HP：<https://www.takeda-prn.co.jp/>

